

地域を越えて神話でつながる

夜神楽大祭が12月26日、国の重要文化財に指定されている興玉神社（安久町）で開催されました。多くの家族連れらが来場。都城商業高校の生徒らによる安久節の曲を現代風にアレンジした踊りの披露や、津軽三味線の演奏のほか、国指定重要無形民俗文化財に指定されている高千穂神楽が奉納され、訪れた人たちは幻想的なひとときを満喫していました。盛田敏郎さん（三股町）は「家族や親戚と遊びにきた。本物の高千穂神楽を間近で見ることができ、滅多にない機会を楽しむことができた」と、日本の伝統芸能を堪能していました。



興玉神社夜神楽大祭

新年の誓いを書いたため

新市誕生10周年を記念した大書初め大会が1月9日、早水公園体育文化センターで開催されました。書に興味のある市民ら約140人が参加。参加者らは、本市のPRロゴを手掛けた紫舟さん指導のもと、筆の使い方や線の書き方などの手ほどきを受けた後、今年の目標ややってみたいこと、好きな言葉などを文字や絵にして、思い思いに力強く書いていました。家族で参加した吉村颯馬くん（4歳・若葉町）は「初めて大きな筆を使って書いた。自分の名前を上手に大きく書けた」と、初めて触れる書に興味を持っていました。



大書初め大会

新年を迎える準備を整える

都城盆地に伝わる年越しの風習「シラスまき」が12月29日、愛宕神社（今町）で行われました。乾燥すると白くなるシラスを、雪や塩に見立て境内を清め、1年の無病息災に感謝して新年を迎えるための行事。氏子ら12人が、約2トンのシラスを境内にまき、新しい1年の無事を祈りました。



都島地区しめ縄づくり

伝統文化で世代間交流

子どもと高齢者の交流を通して、地域のつながりを強めようと、しめ縄づくりが12月27日、都島自治公民館で開催されました。親子連れなど約50人が参加。参加者らは、もち米の稲わらを束ねてより合わせ、裏白や譲葉を飾り付けてしめ縄を作り、その出来栄えに満足していました。



シラスまき

今年1年の景気をよもう

市内で生産された青果や水産物を扱う公設地方卸売市場で1月5日、取引業務始め式が行われました。取引引きの活性化と、1年の無事故を祈願して三本締めが行われた後、池田市長の「はい、なんぼっ」の掛け声で初競りを開始。威勢の良い掛け声で、野菜や水産物が次々に競り落とされました。



公設市場取引業務始め式

昔遊びを楽しむ

餅つきやかかるた遊び、福笑い、書初めなど、昔ながらの正月の文化に触れる「プラザでお正月」が1月10日、ウエルネス交流プラザで開催されました。市内外から多くの家族連れらが来場。会場では、昔遊びのほか、つぎたての餅の振る舞いや、津軽三味線とパークシヨンのコラボレーション演奏が行われ、訪れた人たちは正月気分浸っていました。家族で来場した東森奈菜さん（沖水小5年）は「たくさん催しがあるのでワクワクします。お姉ちゃんと一緒に、全部チャレンジしたい」と、家族で過ごす時間を満喫していました。



プラザでお正月

地域を守る消防団員の勇姿

市民の生命と財産を守るため、地域で活動する消防団の消防出初式が1月10日、沖水川市民緑地で開催されました。会場には多くの家族連れらが来場。式では、団員らの規律や服装の点検、消防車約100台による一斉放水が行われました。また、はしご車の搭乗や放水などを体験する「消防広場」では、参加者らが楽しみながら消防の仕事と役割を学んでいました。蔵元拓海くん（5歳・高崎町縄瀬）は「消防団でがんばるお父さんを見に来た。消防のいろいろな仕事を体験できて楽しかった」と笑顔で話していました。



都城市消防団出初式



カセダウイ（下水流町）



モグラウツ（乙房町）



めの餅づくり（高崎町前田）



オネッコ（郡元町）



盆地の新春行事

新年を迎え、市内各所で新春の行事が開催されました。地域の壮年など有志らが引き継ぐ家内安全や健康、五穀豊穡などを祈願する各行事。1月14日に下水流町で開催されたカセダウイでは、顔を成で塗り福の神に扮した壮年らが、各世帯を訪問。身振り手振りで縁起物売りつけよつとよつとする福の神と、安く値切ろうとする家人との滑稽なやり取りが笑いを誘っていました。

統計調査のスペシャリスト
「大内賞」 県内初受賞



登録統計調査員

か み お う し か つ こ
神應寺 佳津子さん

「最近では、オートロックマンションや、共稼ぎで留守にすることが多い世帯など、なかなか面談できない世帯が増えた。また、プライバシー意識も高まり、年々調査が難しくなっている」と話す神應寺さん。

「調査に協力してもらった市民の皆さんや事業所の皆さん、そして、家族の支えがあったから、調査員を続けてこられた」と感謝の気持ちをお話す神應寺さん。

「調査では、苦情を言われて辛かったり、ねざらいの言葉をもらってうれしかったり、いろいろな経験をした。たくさんの人と接することで、自分も成長することができた」とこれまでの活動を振り返ります。



「統計調査は国の重要な調査。さまざまな分野の基礎資料として利用されるなど重要性も高いので、何回も足を運んで、信頼して回答してもらえよう心掛けています」と話します。

「苦労したこともありましたが、今ではいい思い出です。今、地道に調査員としてがんばっている人と喜びを分かち合いたい。この受賞が皆さんの励みになればうれしい」と、これからも調査活動を続け、正確な調査に貢献したいと意気込みを話していました。



地域おこし協力隊だより Vol.2

地域外の人材を活用して、地域の課題解決に向けた取り組みを進める、「地域おこし協力隊」制度。

現在、市では2人の地域おこし協力隊員が、地域の皆さんと一緒に、豊かな自然と充実した生活環境で、活性化や移住・定住の促進、婚活支援などに取り組んでいます。今回は、平山さゆりさんの活動を紹介します。



地域おこし協力隊員になった切っ掛け

私は都城市の出身ですが、進学や就職のため、一時、都城を離れていました。この間、常に都城のことが心の中にあり、ふるさとの素晴らしさをもっと多くのの人に知ってもらいたい、市の発展につながる仕事がしたいと考え、地域おこし協力隊の募集に応募しました。

移住定住の促進

地域おこし協力隊員としての私の主な仕事は、市へ移住を希望す

る人の相談対応や、希望者が視察のために市を訪れた際の案内などで、市の住みやすさを伝えるとともに、魅力をPRしています。

婚活支援

もう一つの主な仕事が婚活支援です。現在は私は、県の結婚サポートセンターとの連携を進めながら、市内の婚活事業団体への聞き取りや婚活イベントの情報把握に努めています。



これらの事業に取り組む中で、世代や立場などによって、求めているものや必要な支援が異なることが分かりました。若い世代の多くは、結婚が前提ではなく、多くの人と交流ができる場を必要としています。一方、結婚を具体的に考えている人は、イベントなどの情報が必要としています。

人と人との懸け橋に

移住定住の促進や、婚活支援につなげるため、まずは、たくさんの人との交流をしたいと考えています。そして、ゆくゆくは、地域の人と人との懸け橋になりたいです。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

小松菜はカルシウムや鉄、カロテンなどを多く含む栄養価の高い緑黄色野菜です。そのほか、血糖値の上昇を抑えたり、コレステロール値を下げたりする効果もあり、高血圧の改善にも役立ちます。また、美容効果や貧血、骨粗しょう症予防など女性にはうれしい成分が多く含まれる、冬の代表的な野菜のひとつです。

材料（4人分）

小松菜	200g	A	薄口しょうゆ	大 1/2
モヤシ	80g		砂糖	小1
ニンジン	40g		酢	小1
小エビ	40g		こしょう	少々
酒	大1		ごま油	小1

●下準備

- 小松菜…ゆでて3cm程度の長さに切る
- モヤシ…さっとゆでて、水気をきる
- ニンジン…千切りにしてゆで、水気をきる
- 小エビ…酒を振りゆでた後、半分に切る

●作り方

下準備をした材料をAで和えて、器に盛る

ちよっと
いと工夫

小エビの代わりに、桜エビやカニカマなどを入れても風味よく食べられます。また、季節の野菜を使うと1年中食べることができ、栄養満点のおかずの1品になります。

盆地生まれの元気をいただきます!

小松菜の和え物

※1人分 42kcal、塩分0.8g

1日の野菜摂取量は350g



◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765